

## 編集後記

『英學史論叢』第9号(通巻29号)を予定通り、春の研究例会時に発行できることを喜びたい。執筆者、査読者各位にお礼申し上げます。今号より投稿締め切りを1ヶ月程度繰上げたにもかかわらず、多数の投稿が寄せられた。研究論考と研究ノートの中には、昨年度の中国・四国支部研究例会における口頭発表に基づくものが2点、日本英学史学会全国大会での口頭発表に基づくものが2点含まれている。

「英学史随想」では、第6号に引き続き、中舛氏による田中菊雄研究の一端が披露されている。中舛氏が昨年度末まで勤務された呉三津田高校の前身は、田中菊雄が猛勉強を続けながら教鞭をとった思い出の呉中学校だ。私は大学院時代に受けた面接で「最近感動したことは何ですか」と問われ、即座に『私の英語遍歴』を読んだことで、と答えたことがある。先輩の勧めで読んだ田中菊雄の自伝は、学び続けることの厳しさ楽しさを教えてくれた。感動の一冊だ。

今回の執筆陣の中では、中舛氏のほかに隈氏、保坂氏も高等学校で教鞭をとる傍ら地元の英学史について研究をまとめられた。いずれも「今」の英語教育実践にどうつながるかを意識した論考である。3氏には引き続き研究発表を通じて若手の牽引役をお願いしたい。また、次代を担う会員諸氏が次々と名乗りを上げ、発表と論文化にトライして下さることを願ってやまない。

前号まで「赤祖父茂徳文庫」所蔵資料の復刻を3回連続で行なってきたが、今回は「妹尾啓司文庫目録」を掲載した。昨年度の『英學史論叢』第8号の巻頭言にて小篠敏明前支部長より紹介された文庫目録の完成である。小篠先生のご労苦、ならびに資料をご提供くださった相談役の妹尾啓司先生に心より感謝申し上げたい。

今回の紀要編集に当たり、「嬉しい悲鳴」という言葉を何度も口にした。私が忙しいのは支部活性化の証だ。この勢いを維持したいと思う。編集後記の締めくくりとして「歴史は孤立して存在しているのではない」ということを再確認したい。今号の巻頭言から付録の目録までを通読してみれば、英学史がいかに「今」を豊かにするものであるか、お分かりのことと思う。次号は記念号。楽しい一年になりそうだ。(T.U.)

英學史論叢 第9号(通巻29号)(平成18年5月27日発行)  
編集・発行者: 日本英学史学会中国・四国支部(代表: 竹中龍範)  
発行所: 県立広島大学 馬本研究室内  
日本英学史学会中国・四国支部事務局  
〒727-0023 広島県庄原市七塚町 562 番地  
電話・ファックス: (0824)74-1725 (直通)  
e-mail: umamoto@pu-hiroshima.ac.jp